

令和 6 年 7 月 2 日現在

機関番号：34434

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K12547

研究課題名（和文）我が国の庭園観光の適切かつ持続的な推進に向けた研究

研究課題名（英文）Study for appropriate and sustainable development of garden tourism in Japan

研究代表者

小野 健吉（ONO, Kenkichi）

大阪観光大学・観光学部・教授

研究者番号：40194584

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、我が国の庭園観光の適切かつ持続的発展に寄与することを目的として、兼六園・養浩館・玄宮園といった個別の歴史的庭園の運営に関する研究に基づいた提案、愛媛県・奈良県・京都市・大阪府を事例とした各地域の庭園の特色に基づく庭園観光に関する提案をおこなうとともに、西芳寺・粉河寺の庭園観光に関する歴史的研究を実施し、論文等として公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本における庭園観光について、兼六園・養浩館・玄宮園を事例とした個別の庭園の運営に関する提案、愛媛県・奈良県・大阪府および京都市において今後それぞれ期待される庭園観光についての提案をおこなった。こうした提案は、従来あまり行われておらず、当該庭園の管理者や当該自治体の観光担当者に対し有益な情報を提供したものと考えられる。また、西芳寺と粉河寺に関する庭園観光の歴史的研究は、従来の庭園史研究では少なかった観光の視点からの研究として今後の庭園史研究の展開に寄与するものとなったと考える。

研究成果の概要（英文）：In order to contribute to the appropriate and sustainable development of garden tourism in Japan, this study made proposals on the management of individual historical gardens such as Kenrokuen garden, Yokokan garden and Genkyuen garden, proposals on garden tourism based on the characteristics of gardens in such regions as Ehime, Nara, Osaka prefectures and Kyoto city, and conducted historical researches on garden tourism at Saiho-ji temple in Kyoto and Kokawa-dera temple in Wakayama. The proposals and researches mentioned above are published as papers on academic journals.

研究分野：文化遺産観光

キーワード：庭園観光 日本庭園 兼六園 養浩館 玄宮園 都林泉名勝図会 西芳寺 粉河寺

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

**機関番号** 34434

**研究種目** 基盤研究(C)

**研究期間** 2019～2023

**課題番号** 19K12547

**研究課題名** (和文) 我が国の庭園観光の適切かつ持続的な推進に向けた研究  
(英文) Study for appropriate and sustainable development of garden tourism  
in Japan

**研究代表者氏名** 小野 健吉 (オノ ケンキチ)

ONO Kenkichi

**所属研究機関** 大阪観光大学

**部局** 観光学部

**研究者番号** 40194584

**交付決定額** (直接経費) 2,600,000 円

### 研究成果の概要

本研究では、我が国の庭園観光の適切かつ持続的発展に寄与することを目的として、兼六園・養浩館・玄宮園といった個別の歴史的庭園の運営に関する研究に基づいた提案、愛媛県・奈良県・京都市・大阪府を事例とした各地域の庭園の特色に基づく庭園観光に関する提案、西芳寺・粉河寺の庭園観光に関する歴史的研究を実施し、論文等として公表した。

### Outline of Research Achievements

In order to contribute to the appropriate and sustainable development of garden tourism in Japan, this study made proposals on the management of individual historical gardens such as Kenrokuen garden, Yokokan garden and Genkyuen garden, proposals on garden tourism based on the characteristics of gardens in such regions as Ehime, Nara, Osaka prefectures and Kyoto city, plus historical researches on garden tourism at Saiho-ji temple in Kyoto and Kokawa-dera temple in Wakayama. The proposals and researches mentioned above are published on in academic journals.

### 研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、日本における庭園観光について、兼六園・養浩館・玄宮園を事例とした個別の庭園の運営に関する提案、愛媛県・奈良県・大阪府および京都市において今後それぞれ期待される庭園観光についての提案をおこなった。こうした提案は、従来あまり行われておらず、当該庭園の管理者や当該自治体の観光担当者に対し有益な情報を提供したものとする。また、西芳寺と粉河寺に関する庭園観光の歴史的研究は、従来の庭園史研究では少なかった観光の視点からの研究として今後の庭園史研究の展開に寄与するものとなったと考える。

## 研究分野 文化遺産観光

- キーワード**
- 1 ) 庭園観光
  - 2 ) 日本庭園
  - 3 ) 兼六園
  - 4 ) 養浩館
  - 5 ) 玄宮園
  - 6 ) 都離船名勝図会
  - 7 ) 西芳寺
  - 8 ) 粉河寺

## 研究成果

- ・小野健吉「大阪ガーデンツーリズムの提案」2024年3月『大阪観光大学研究論集』24号、pp.1-10
- ・小野健吉「都林泉名勝図会で楽しむ京都庭園観光の提案」2024年3月『観光学』30号、pp.51-64
- ・小野健吉「名勝粉河寺庭園の作庭位置・意匠の含意と作庭の目的についての試論」2023年3月『和歌山県文化財センター紀要』1号、pp.35-40
- ・小野健吉「室町時代朝鮮使節を魅了した西芳寺庭園」2023年3月『大阪観光大学研究論集』23号、pp.1-12
- ・小野健吉「歴史的庭園を主体としたガーデンツーリズムの提案 奈良県と愛媛県を事例として」2023年3月『観光学』28号、pp.27-38
- ・小野健吉「国土交通省ガーデンツーリズム登録制度と歴史的庭園」2022年3月『大阪観光大学研究論集』22号、pp.1-7
- ・小野健吉「京都の庭園観光に関するオンライン調査を通じた実態把握とその結果に基づく庭園」2022年3月『観光学』26号、pp.51-68
- ・小野健吉「玄宮園の運営に関する提言」2021年3月『観光学』24号、pp.59-70
- ・小野健吉「養浩館庭園の運営に関する提言」2020年9月『観光学』23号、pp.21-29
- ・小野健吉「兼六園の活用と管理運営の展望」2020年3月『観光学』22号、pp.37-49
- ・小野健吉「国土交通省ガーデンツーリズム施策と日本における庭園観光の展望」2019年11月『令和元年度日本庭園学会関西大会研究発表要旨集』、pp.1-6

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 8件）

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉                                       | 4. 巻<br>28号          |
| 2. 論文標題<br>歴史的庭園を主体としたガーデンツーリズムの提案 奈良県と愛媛県を事例として     | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>観光学  | 6. 最初と最後の頁<br>27-38  |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.19002/AA12438820.28.27 | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                | 国際共著<br>-            |
| 1. 著者名<br>小野健吉                                       | 4. 巻<br>23号          |
| 2. 論文標題<br>室町時代朝鮮使節を魅了した西芳寺庭園                        | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>『大阪観光大学研究論集』                               | 6. 最初と最後の頁<br>1-12   |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                        | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                | 国際共著<br>-            |
| 1. 著者名<br>小野健吉                                       | 4. 巻<br>1号           |
| 2. 論文標題<br>名勝粉河寺庭園の作庭位置・意匠の含意と作庭の目的についての試論           | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>和歌山県文化財センター研究紀要                            | 6. 最初と最後の頁<br>35-40  |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                        | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                | 国際共著<br>-            |
| 1. 著者名<br>小野健吉                                       | 4. 巻<br>26号          |
| 2. 論文標題<br>京都の庭園観光に関するオンライン調査を通じた実態把握とその結果に基づく提案     | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>観光学  | 6. 最初と最後の頁<br>85-102 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>10.19002/AA12438820.26.51 | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                | 国際共著<br>-            |

|  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉                         | 4. 巻<br>22号       |
| 2. 論文標題<br>国土交通省ガーデンツーリズム登録制度と歴史的庭園    | 5. 発行年<br>2022年   |
| 3. 雑誌名<br>大阪観光大学研究論集                   | 6. 最初と最後の頁<br>1-7 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有        |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-         |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉  | 4. 巻<br>23号         |
| 2. 論文標題<br>養浩館庭園の運営に関する提言                             | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『観光学』                                       | 6. 最初と最後の頁<br>21-29 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.19002/AA12438820.23.21 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉  | 4. 巻<br>24号         |
| 2. 論文標題<br>玄宮園の運営に関する提言                               | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『観光学』                                       | 6. 最初と最後の頁<br>59-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.19002/AA12438820.24.59 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉  | 4. 巻<br>22号         |
| 2. 論文標題<br>兼六園の活用と管理運営の展望                             | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>観光学   | 6. 最初と最後の頁<br>37-49 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.19002/AA12438820.22.37 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉  | 4. 巻<br>26号         |
| 2. 論文標題<br>京都の庭園観光に関するオンライン調査を通じた実態把握とその結果に基づく庭園      | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>観光学   | 6. 最初と最後の頁<br>51-68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.19002/AA12438820.26.51 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>小野 健吉                                       | 4. 巻<br>30          |
| 2. 論文標題<br>『都林泉名勝図会』で楽しむ京都庭園観光の提案                     | 5. 発行年<br>2024年     |
| 3. 雑誌名<br>観光学   | 6. 最初と最後の頁<br>51-64 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.19002/AA12438820.30.51 | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計1件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>小野健吉                           |
| 2. 発表標題<br>国土交通省ガーデンツーリズム施策と日本における庭園観光の展望 |
| 3. 学会等名<br>日本庭園学会                         |
| 4. 発表年<br>2019年                           |

〔図書〕 計2件

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>晃洋書房 | 5. 総ページ数<br>82  |
| 3. 書名<br>庭園と観光 |                 |

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>小野健吉            | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>能登印刷            | 5. 総ページ数<br>104 |
| 3. 書名<br>論集 日本の庭園観光 歴史と現状 |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号) | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|